

無料特典パック① IT導入補助金申請スタートキット

自動化ビジネスを始める人向け
事業計画書テンプレート・NG例・申請マニュアル完全版

目次

- 1. 2026年最新版デジタル化・AI導入補助金の概要 P.1
- 2. gBizIDプライム取得手順（図解付き） P.3
- 3. 事業計画書・見積書サンプルテンプレート P.5
- 4. 申請で落ちやすいNG例と改善ポイント P.8
- 5. Wakablog CollegeのTEAM ENGINEプラン向け申請例 P.10

1. デジタル化・AI導入補助金の概要まとめ

2026年度より、「IT導入補助金」は「デジタル化・AI導入補助金」へと名称が変更されました。基本的なスキームは踏襲されていますが、AI技術の活用や労働生産性の向上がより強く求められる制度設計となっています。

主な申請枠と補助額・補助率

| 申請枠 | 補助額 | 補助率 | 対象経費 |
|-----------------------|-----------|-------------------------|-------------------------------|
| 通常枠 | 5万円～450万円 | 1/2以内 ※賃上げ等で2/3へ引き上げ | ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年）、導入関連費 |
| インボイス枠 (インボイス対応類型) | ～350万円 | 2/3～4/5 | 会計・受発注・決済ソフト、PC・タブレット、レジ券売機 |
| セキュリティ対策推進枠 | 5万円～150万円 | 1/2以内 ※小規模は2/3 | サイバーセキュリティお助け隊サービス利用料 |
| 複数社連携枠 | 最大3,000万円 | 該当要件による | 消費動向分析、基盤導入経費など |

対象者（中小企業・小規模事業者）

資本金または従業員数が以下の基準以下の法人が対象となります。

- **製造業・建設業・運輸業:** 資本金3億円以下 または 従業員300人以下
- **卸売業:** 資本金1億円以下 または 従業員100人以下
- **サービス業:** 資本金5,000万円以下 または 従業員100人以下
- **小売業:** 資本金5,000万円以下 または 従業員50人以下

2026年 申請スケジュール（予定）

締切直前はアクセスが集中するため、余裕を持った申請を推奨します。

- **1次締切:** 2026年 5月12日（火） 17:00
- **2次締切:** 2026年 6月15日（月） 17:00
- **3次締切:** 2026年 7月21日（火） 17:00
- **4次締切:** 2026年 8月25日（火） 17:00

必須申請要件 & 加点項目

❗ 必須要件

- ✓ ✓ gBizIDプライムの取得
- ✓ ✓ SECURITY ACTIONの宣言（★一つ星以上）
- ✓ ✓ みらデジ経営チェックの実施

★ 加点項目（採択率UP）

- ✓ クラウド製品の選定
- ✓ インボイス対応製品の選定
- ✓ 貸上げ計画の表明（給与支給総額 年率1.5%以上向上など）
- ✓ 健康経営優良法人の認定

2. gBizIDプライム取得手順

申請には「gBizIDプライム」アカウントが必須です。発行には時間がかかるため、真っ先に取り掛かってください。

取得方法の比較

| 方法 | オンライン申請（推奨） | 郵送申請 |
|-----|-----------------|----------------|
| 対象 | マイナンバーカードを持つ代表者 | マイナンバーカードがない場合 |
| 期間 | 最短即日～数日 | 1～2週間 |
| 必要物 | マイナンバーカード、スマホ | 印鑑証明書、登録印、申請書 |

【推奨】オンライン申請手順（法人）

STEP 1 公式サイトへアクセス

「G BizID」公式サイトにアクセスし、「ID作成」ボタンをクリックします。

STEP 2 アカウント種類の選択

「法人」を選択し、「プライムアカウントの新規取得」をクリックします。



[画面イメージ: gBizIDトップ > ID作成 > 法人 > プライム]

STEP 3 情報の入力

法人番号を入力すると会社情報が自動反映されます。代表者名、生年月日、メールアドレス等を入力します。

STEP 4 電子署名（アプリ使用）

スマホに「G BizIDアプリ」をインストールし、画面のQRコードを読み取ってマイナンバーカードで電子署名を行います。

STEP 5 審査完了

不備がなければ、登録したメールアドレスに完了通知が届きます。リンクをクリックしてパスワードを設定すれば完了です。

よくあるトラブルと対処法

- **SMSが届かない:** 入力した電話番号が正しいか、SMS受信拒否設定になっていないか確認してください。
- **印鑑証明書と入力内容の不一致（郵送時）:** 住所の「丁目・番地」の表記（1-1 か 1丁目1番地か）は、印鑑証明書通りに正確に入力してください。ここが最大のNGポイントです。

3. 事業計画書・見積書サンプルテンプレート

採択される計画書には「具体性」と「実現可能性」が必要です。自動化ビジネスを例にしたテンプレートです。

事業計画書テンプレート（記入例）

Template

1. 会社概要と現状の課題

【現状の課題】

現在、経理・総務業務および顧客管理を全て手作業（Excel・メール）で行っており、月間約80時間を事務作業に費やしている。人的ミスも発生しており、本業であるコンサルティング業務へのリソース投下が妨げられている。

2. 導入するITツールとその役割

【導入ツール】

- ・業務自動化ツール（RPA）：「Auto-Biz Pro」（仮称）
- ・クラウド会計連携ツール：「Cloud-Linker」（仮称）

【役割】

定型的なデータ入力作業や請求書発行業務をRPAで自動化し、クラウド会計ソフトとAPI連携させることで、入力業務をゼロにする。

3. 期待される効果（労働生産性向上計画）

【数値目標】

事務作業時間を月間80時間 → 10時間に短縮（**87.5%削減**）。

創出された70時間を新規顧客開拓に充て、売上を前年比**120%**に拡大させる。

【労働生産性】

1年後の労働生産性（粗利 ÷ 従業員数）：現状 500万円 → 目標 550万円（**+10%**）

※要件である3%以上を十分にクリアする計画。

見積書サンプル構成案

IT導入支援事業者から発行してもらう見積書は以下の構成になっている必要があります。

| 項目 | 内容例 | 金額（税抜） |
|---------|--------------------|------------|
| ソフトウェア費 | 業務自動化RPAツール ライセンス料 | 1,200,000円 |
| クラウド利用料 | クラウドサービス利用料（24ヶ月分） | 480,000円 |
| 導入関連費 | 初期導入設定・マニュアル作成支援 | 200,000円 |
| 保守サポート費 | 年間保守サポート（1年分） | 120,000円 |
| 合計（税抜） | | 2,000,000円 |

※補助率1/2の場合、補助金額は100万円となります。

労働生産性計算のポイント

$$\text{労働生産性} = (\text{営業利益} + \text{人件費} + \text{減価償却費}) \div \text{従業員数}$$

この数値が、3年間の事業計画期間において年率3%以上（または1年後に3%以上）向上する計画である必要があります。

4. 申請で落ちやすいNG例と改善ポイント

形式的な不備で落ちるケースが非常に多いです。提出前の最終チェックとして活用してください。

× NG例1: 書類不備・画像不鮮明

履歴事項全部証明書のページが足りない、スマホで撮影した画像がブレている、有効期限切れ。

✓ 改善: スキャナを使用し、全ページを1つのPDFにする。発行3ヶ月以内のものを用意。

× NG例2: 対象外経費の申請（消費税）

見積書の「税込金額」を補助対象経費として入力してしまう。

✓ **改善:** 必ず「**税抜価格**」を入力する。消費税は全額自己負担です。

× NG例3: 抽象的な効果の記載

「業務が楽になります」「効率化します」といった定性的な表現のみ。

✓ **改善:** 「作業時間が○時間削減」「ミス率が○%低下」「売上が○万円向上」と **数値で語る**。

× NG例4: 汎用プロセスのみでの申請

特定の業務機能を持たない汎用ツール（単なるOfficeソフト等）だけで申請。

✓ **改善:** 必ず「顧客対応」「会計」「決済」など **業務プロセスを持つツールと組み合わせる**。

× NG例5: 最低賃金要件未達

事業場内最低賃金が、地域の最低賃金を下回っている状態で申請。

✓ **改善:** 申請前に直近の賃金台帳を確認し、必要であれば賃上げを行ってから申請する。

5. Wakablog CollegeのTEAM ENGINEプラン向け申請例

Wakablog Collegeの受講生が「自動化ビジネス」を立ち上げる際に、どのように補助金を活用できるかの具体例です。

自動化ビジネス × 補助金活用

高額なツール導入コストを抑え、リスクを最小限にしてスタートアップ！

推奨ツール構成例

- **RPAツール:** 定型業務の完全自動化（データ収集、入力代行）
- **SaaS連携ツール:** 異なるクラウドサービス間のデータ同期（iPaaS）
- **会計・請求管理SaaS:** インボイス対応とバックオフィス効率化

申請事例（コンサルティング業 A社の場合）

→ Before（導入前）

- クライアント10社のSNS分析レポートを手動作成（月50時間）
- 請求書発行と入金確認を目視で行う（月10時間）
- **課題:** 社長が作業に追われ、新規営業ができない。

🚀 After（導入後）

- RPAでレポート作成を全自動化（月50時間 → 0時間）
- 会計ソフト連携で請求・消込を自動化（月10時間 → 1時間）
- **効果:** 空いた時間で新規3社獲得、売上150%アップ。

実質負担軽減シミュレーション

TEAM ENGINEプランで推奨する自動化ツールセット（総額200万円）を導入する場合：

| 区分 | 金額 |
|------------------|--------------|
| ツール総額（税抜） | 2,000,000円 |
| 補助金交付額（補助率 2/3※） | ▲ 1,333,333円 |
| 実質自己負担額 | 666,667円 |

※賃上げ要件等を満たして補助率が引き上げられた場合の例です。通常は1/2（負担額100万円）となります。

※本資料は2026年3月時点の情報に基づき作成されています。申請の際は必ず最新の「公募要領」をご確認ください。※補助金の採択を保証するものではありません。

© 2026 Wakablog College自動化ビジネス構築支援無料特典パック 制作委員会All Rights Reserved.